



こしんでん

令和6年4月24日発行

— 第2号 —

浅羽東小学校のHP <https://asabahigashi-e.fukuroi.ed.jp>

学校メールアドレス asahigashi-s@orange.ocn.ne.jp



新年度が順調にスタート！どの子どもがんばっています！

入学式、始業式から2週間が経ちました。保護者の皆様、ガードボランティアの皆様に見守られ、どの地区の子供たちも安全に集団登校ができています。前年度と比べると、全体的に登校時間が早まったようで、8時にはほぼ登校が完了しています。

登校班のリーダーを務める子供たちがしっかりと役割を自覚しています。以前は集団登校に遅れ気味だった児童も登校班をまとめる役を任されたことで、下級生に声を掛けながら時間を守って登校しています。子供たちの成長を感じます。

ところで、先日「浅羽東小学校子どもガード協議会」の総会を実施しました。この協議会は平成18年に設置された本校独自の組織で、子供たちの登下校や地域における生活の安心・安全のために活動しています。主体は本校PTAですが、自治連合会長、自治会長、安全推進部会長、地域防犯推進委員、安全会、民生委員、学校運営協議会など、地域の皆様や団体にも加盟をお願いし、御協力いただいています。

4月始めに横断歩道に立ってくださるボランティアさんに、「今年度もよろしくお願ひします。」と挨拶をしながら、「ボランティアを始めてどれくらいになるのですか？」と尋ねました。すると、ガード協議会の立ち上げから協力してくださっているということ、以前は子供たちと毎日学校まで歩いてくださっていたということを教えてくださいました。「もう年だもんで、ここに立ってることくらいしかできんだよ。」とおっしゃった言葉に、ただただ頭の下がる思いがしました。

たくさんの地域の皆様が、毎朝学校まで子供たちと一緒に歩いてきてくださっています。交差点や横断歩道で見守りをしてくださっています。子供たちを事故や犯罪被害から守るために、地域の皆様に御尽力いただいていることに心より感謝申し上げます。

ガード協議会総会を開催するにあたり、ボランティアの皆様へお礼のメッセージを寄せてくださった保護者がいました。感謝の気持ちを表してくださる方々がいることも、たいへん嬉しいことです。

いつも子供たちの見守りをありがとうございます。おかげで、安全が守られています。

いつも子供たちの安全に配慮いただき、ありがとうございます。安心して、学校に通わせることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

雨の日も風の日も、いつも子供たちを見守ってくださり、ありがとうございます。

大地震への備えも・・・

各地で大きな地震が立て続けに発生しています。先週、四国地方で発生した地震では、多くの方が「いよいよ南海トラフ地震がきたっ！」と思ったそうです。南海トラフ地震は、30年以内に70～80%の確率で発生すると言われています。登下校中も含め、大地震が発生した場合の対応について、子供たちと一緒にしっかりと備えをしておかなくてはなりません。御家庭でも、登下校中に地震が発生した際の一時避難場所など、いざという時の対応についてお子さんとよく話し合っておくようお願いいたします。

授業参観会、懇談会への御参加をありがとうございました！

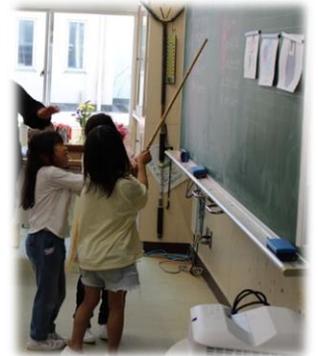
4月17日（水）、今年度最初の授業参観会を実施しました。1年生にとっては、学校での様子を初めてお家の人に見てもらえる機会となりました。朝から子供たちが張り切っている様子が伝わってきました。

新年度がスタートしてから10日あまりです。1年生に限らず、どの学級においても集団のルールや約束事がまだ浸透していないため、落ち着いた雰囲気や整然さが不十分だった学級があったかもしれません。

学級づくりはこれからです。「自分も相手も大切に」しながら、学級の仲間と生活していく中で、その学級の文化をつくってほしいと思います。相手を大切にして「聞くこと」、相手に届く「あいさつ」、「いじめのない」学級づくりについては、どの学級でも重点的に取り組んでいきます。

PTA 総会も終わり、令和6年度のPTA活動もスタートしました。西野会長を中心に子供たちが充実した学校生活を送ることができるよう保護者の皆様の御協力をお願いいたします。

総会后、校長から今年度の本校の経営方針について説明させていただきました。保護者の皆様と本校の重点目標を共有したことで、同じ方向に向かって子供たちの成長を支援していくことができると期待をしています。



いじめのない学級・学校づくりを進めるにあたり、いじめとは何かについて子供たちにも、保護者の皆様にも同じ内容をお伝えしました。

いじめ加害者がゼロになれば、いじめのない学級、学校が実現できるはずですが、我が子がいじめの被害者になるのはつらいことですが、同様に、加害者になることも非常につらいことです。

いじめとは・・・

だれかの
こころ や からだ がきずつくような
ことをすること
インターネットをつかってやるものもふくむ・・・
あいての子が
こころやからだ「いたい」「くるしい」と
おもっていたら、それは いじめです。

<子供をいじめ加害者にしないために私たちができること>

1 勇気づけの達人を目指しましょう！

「自分は大切にされていない」と感じている子供は、他人を大切にすることが苦手です。子供には、「自分は愛されている」「認めてもらえている」という実感が必要です。話をしっかり聞いてもらえるだけでも、人は自分が認められ、大切にされていることを実感するものです。お子さんの気持ちを否定せず、お子さんの気持ちに寄り添ってたくさん話を聞いてあげていただきたいです。親子でたくさん話をすることや、我が子のよさを認めてあげることで、お子さんは勇気付けられ、心が満たされていきます。

2 「相手の気持ちを理解しなさい！」という前に子供の気持ちを理解できる大人を目指しましょう！

いじめとは、簡単に言えば「相手が嫌がることをしたり、言ったりすること」です。相手の気持ちが分かる子はいじめをしません。「自分の気持ちを分かってもらえた」という実感の積み重ねが、子供の内に「相手の気持ちを理解しよう」「分かろう」とする態度を育てます。子供に関わる私たち大人が子供の気持ちを理解しようと努めたいものです。